

都市再生整備計画(第2回変更)
鶴来地区

石川県 白山市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	石川県	市町村名	白山市	地区名	鶴来地区	面積	267.8 ha
計画期間	平成	27	年度	～	平成	31	年度
				交付期間	平成	27	年度
						31	年度

目標
【大目標】：観光拠点から“まちなか”への来訪者の誘導と、住民が歩いて楽しい“まちなか”の仕掛けづくり
目標①： “まちなか”へ誘導する「魅力」（ハード）の整備
目標②： “まちなか”へ誘導する「足」の整備
目標③： “まちなか”へ誘導する「しかけ」（ソフト）の整備

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>【地区現況】</p> <p>鶴来地区は、白山麓地域の玄関口として、白山比咩神社の門前町として、また、製材業・醸造業等の産業拠点として、古くから発展してきた歴史ある地域である。本地区には、それらが育んだ伝統的な街並みや多種多様な民俗文化、伝統工芸・特産品・産業が存在し、様々な特色を持つ町として現在も5,000人以上の人々が生活を営んでいる。しかしながら、近年の人口減少と少子高齢化、伝統産業・商業の不振、さらには白山市への合併によるアイデンティティの喪失など、本地区を取り巻く環境は年々厳しさを増している。例えば、平成21年の鶴来駅～加賀一の宮駅間の廃線に伴うまちなか来訪者数の減少やまちなかでの買い物客の減少とそれに伴う空き店舗の増加等により、市街地の空洞化に拍車がかかっている。さらに、本地区には、手取川に沿って南北方向に、国道157号や主要地方道金沢鶴来線、鶴来水島美川線等の幹線道路が通過しているが、これらの道路を結ぶ東西方向の道路が脆弱であることが、まちなかへの来訪者を少なくさせる一因となっている。</p> <p>一方で、白山比咩神社や獅子吼高原、石川県ふれあい昆虫館等が立地する南の観光拠点には年間90万人もの来訪者があり、この来訪者をいかにまちなかに誘導するかが課題となっている。本地区には、豊かな自然環境をはじめ、伝統料理、四醸造・獅子頭等の特産品、ほうらい祭り等のイベントなど、地域資源が豊富にあることから、これらの有効活用と交通ネットワークの構築等により、来訪者をまちなかに誘導し、多くの人々にぎわう活力のあるまちなかの創出が期待されている。</p> <p>このような背景の中で、石川線の一部廃線問題に対処するために、地元関係者を中心とした「鶴来まちづくり委員会」を設立し、廃線問題という部分的課題のみでなく、鶴来地区の中心部の将来について活性化方策を再考し、ハード・ソフト両面からまちづくりのあるべき姿とその実現に向けた方策を検討してきた。平成24年3月には、これらをまとめた「鶴来まちづくり活性化計画書」を策定するとともに、これを受けて、まちづくりメニューの実践に向けた検討が行われており、平成24年度には、市役所と地域住民、有識者からなる「まちづくり協議会」を発足した。まちづくり協議会は、これまで計7回開催されており、精力的な活動が継続されている。本整備計画では、鶴来まちづくり活性化計画書の具現化を図るべく、白山比咩神社からまちなかへの誘導・まちなかで楽しく歩ける仕掛け作りを目標としたハード・ソフト両面の整備を行う。</p>
<p>課題</p> <p>1. 来訪者をまちなかへ誘導するハード整備やしかけづくり</p> <p>来訪者をまちなかに誘導するためには、北の玄関口となる鶴来駅周辺や南の玄関口となる旧加賀一の宮駅周辺、南部の観光拠点等からまちなかへ誘導し移動できることが重要である。このため、鶴来駅周辺の基盤整備や旧加賀一の宮駅の修景整備、広域道路等からまちなかへのアクセス道路の整備等を図る必要がある。また、来訪者が楽しみながらまちなかを散策できるしかけづくりも求められ、まちなみ整備やまちなか散策ルートの設定をはじめ、継続性のあるイベントの実施、特産品の製作体験ができる機会の提供等により、まちなか散策の魅力向上を図り、誘客増加を目指す必要がある。</p> <p>2. まちなかを周遊するネットワーク交通網の確保</p> <p>現在、鶴来地域を中心に運行されている「つるぎふれあい巡回バス」は、地域住民の足として機能しているものの、観光施設との連携に乏しく、来訪者の利便性を考慮したものはなっていないのが実状である。このため、地区住民や来訪者を本地区の観光拠点やまちなかに誘導するため、観光施設とまちなかを周遊しながら連絡する周遊バスルートの整備を図る必要がある。また、周辺地域からまちなかへの自転車利用者を呼び込むために駐輪施設の整備、そして、手取キャンオンロードとの連携と共に、鶴来駅や旧加賀一の宮駅にレンタサイクルを備えたサイクリングターミナルを整備し、バス等との連携強化により、自転車によるまちなか誘客を促進する必要がある。</p> <p>3. 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光資源の整備</p> <p>本地区には、白山比咩神社、石川県ふれあい昆虫館、獅子吼高原、金劔宮、一閑寺等の観光施設をはじめ、宿泊施設、食べ処・飲み処、伝統産業、おみやげ処といった施設が各所にみられるほか、四季を肌を感じる豊かな自然環境がある。来訪者をまちなかに誘導するためには、これらの地域資源にさらに磨きをかけ魅力向上を図るとともに、各資源の有機的連携によりまちなかの一体感を高め、鶴来の魅力を感じるまちづくりが必要である。また、特産品等の活用により、多くの人々をまちなかへ誘導するしかけをつくり、まちなかにぎわいを創出することが必要である。</p>
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【白山市総合計画】平成18年度策定</p> <p>白山市総合計画では、「豊かな自然と共生する自立と循環の都市 ～ 白山から日本海まで 交流・連携そして協働による活力あるまちづくり ～」を将来都市像として掲げ、本地区の鶴来駅周辺を「にぎわいゾーン(まちなか)」に、また、国道157号沿線など、その他市街地を「いきいきゾーン(居住・商業地)」に位置づけている。そして、「にぎわいゾーン」では商業、医療福祉等の中心的な機能の集積を活かした快適で活力のある魅力的な都市空間の充実を図り、また、「いきいきゾーン」では、良好な居住環境の充実や土地利用の適切な誘導と潤いのあるまちなみ形成、商店街や地場産業の活性化支援等を推進することが定められている。</p> <p>【白山市都市計画マスタープラン】平成21年度策定</p> <p>白山市都市計画マスタープランでは、地域別構想の「鶴来南部地域(一の宮・鶴来)の方針」の中で、将来のまちづくりのメインテーマを『歴史・観光資源を活かした、にぎわいと情緒があふれる快適な都市』と掲げ、まちづくりの方向性として、本地区の歴史・観光等のまちづくり資源を活かすにつ、良好な居住環境の保全・充実に努めながら、にぎわいのあるまちなかの創出、まちなかを回遊できる交通ネットワークの形成によって、歩行者・自転車利用者等にも配慮したまちづくりを目指すことが定められている。</p> <p>【鶴来まちづくり活性化計画】平成23年度策定</p> <p>本計画は旧鶴来町中心部の将来について、活性化方策を再考し、まちづくりのあるべき姿とその実現に向けた方策を明らかにすることを目的に策定されたものであり、地域の現状を分析し、都市計画マスタープランとの整合性の検証の下、地区の今後のまちづくりメニュー案をまとめている。活性化方策は、次の3つの柱で構成されている。</p> <p>① 鶴来駅周辺の基盤整備や旧加賀一の宮駅の修景整備、まち歩きを楽しむためのまちなみ整備など『まちなかへ誘導する魅力(ハード)の整備』</p> <p>② 「観光拠点」と「まちなか」を連絡するネットワーク交通網の確保、まちなかへのアクセス道路整備、まちなか散策路整備など『「まちなか」へ誘導する「足」の整備』</p> <p>③ 地域特産品の活用やイベント展開、空き家・空き店舗活用などをテーマにした『「まちなか」へ誘導する「しかけ」(ソフト)の整備』</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
空き店舗の活用件数	件	地区内での空き店舗活用件数(白山市統計データ)	まちなかでの景観整備や道路整備などを通して、地区内の回遊性向上と賑わい創出を図り、地区内の空き店舗を、事業期間内に新たに5件活用させる。(目標1に対応)	3 (過去5年間実績)	H26	5 (事業期間内目標)	H31
キャンオンロード利用者数	台/12hr	旧加賀一の宮駅付近のキャンオンロードを利用する自転車数(観測値)	駅周辺の整備およびまちなかの賑わい創出に向けた整備によって、地区の拠点性を向上させ、キャンオンロードの利用者を増加させることにより自転車でのまちなか来訪者を増加させる。(目標2に対応)	182	H26	190	H31
“まちなか”とを行き来する参詣者数	人/12hr	白山比咩神社と鶴来地区中心街とを行き来する歩行者数(観測値)	旧加賀一の宮駅の修景整備などの地区の南の玄関口整備を行うとともに、まちなかでのインフラ整備とイベント等の回遊するしかけづくりによって、“まちなか”とを行き来する参詣者数を増加させる。(目標3に対応)	812	H26	829	H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標① “まちなか”へ誘導する『魅力』（ハード）の整備 【整備方針】 ・旧加賀一の宮駅舎の修景整備と合わせ、駅周辺の施設整備を行うことにより、旧駅舎周辺の拠点性を向上させる。 ・来訪者が快適に表参道に向うことができるよう、表参道乗入れ道路を整備する。 ・表参道乗入れ道整備と併せ、北参道駐車場周辺の回遊性を向上させるため、景観に配慮した整備を行う。 ・歴史的な趣のある外観を呈している旧加賀一の宮駅舎の修景整備（社殿風意匠の復元と利活用）を推進する。 ・舟岡山・八幡エリアにおいて、歴史・文化の特色を活かした観光資源の整備に向けた調査をする。 ・鶴来地区のメインストリートである（都）鶴来本町通り線の無電柱化街路整備を行う。</p>	<p>■基幹事業：旧加賀一の宮駅周辺整備〔地域生活基盤施設〕 ■基幹事業：表参道乗入れ道整備〔道路〕 ■基幹事業：市道三宮町7号線整備〔高質空間形成施設〕 ■基幹事業：旧加賀一の宮駅サイクリングターミナル整備〔既存建造物活用事業〕</p> <p>○関連事業：舟岡山城跡史跡発掘調査事業 ○関連事業：（都）鶴来本町通り線街路整備</p>
<p>目標② “まちなか”へ誘導する『しかけ』（ソフト）の整備 【整備方針】 ・観光拠点等をめぐるまちなか散策ルートの設定とPRを行い、まちなかでの滞留時間を増やしにぎわいを創出する。 ・歴史的なまちなみ景観を保全するとともに、まち歩きを楽しめる新しいまちなか景観を創出する。</p>	<p>■基幹事業：案内誘導サインの設置・駐輪場の整備〔地域生活基盤施設〕 ○関連事業：街なみ環境整備事業</p>
<p>目標③ “まちなか”へ誘導する『足』の整備 【整備方針】 ・国道157号とまちなかを直結する道路整備により、住民や来訪者のまちなか（レッツ付近）へのアクセス性の向上を図る。 ・観光施設とまちなかを周遊しながら連絡する周遊バスルートを整備する。 ・レンタサイクルの活用により、まちなかにおける自転車での散策者の増加を図り、にぎわい創出につなげる。 ・まちなかの市道の消融雪整備を行うことで、一年を通して、安全・快適にまちなかを歩くことができる環境を整える。</p>	<p>■基幹事業：（都）鶴来本町水戸町線整備〔道路〕 ■基幹事業：市民広場整備〔地域生活基盤施設〕 □提案事業：サイクルツーリズム実証実験〔まちづくり活動推進事業〕 ○関連事業：周遊バスルートの整備 ○関連事業：市道別院知守線外消融雪整備</p>

その他
【鶴来地区の地域資源】
 ①**白山比咩神社** 創建2100年を超え、全国に約3000の末社を持つ白山神社の総本宮。地元では、『しらやまん』と呼ばれ親しまれており、年間70万人の参詣者で賑わいを見せている。東京都文京区を走る白山通りの名称も神社名に由来している。
 ②**金剛宮** 古くから鶴来地区の氏神として崇められており、秋季例大祭『ほうらい祭り』は、地区を挙げての盛大な催事として、世代を問わず、多くの住民が祭りの到来を心待ちにしている。
 ③**ほうらい祭り** 10月初旬に行われる金剛宮の秋季例大祭。五穀豊穡を祝い、厄年の男衆が祭り歌を放歌しながら、多くは武者をかたどった身の丈約5mの『造り物』と呼ばれる山車を担ぎ、まちなかを歩く様は圧巻。白山市の無形民俗文化財に指定されており、鶴来の歴史と文化を今に伝承している。
 ④**北陸鉄道石川線** 金沢市野町と鶴来地区を結び、営業距離13.8kmの単線の鉄道路線。道路網の整備により、ピーク時より利用者は激減しているが、朝夕の通勤通学、また交通弱者である高齢者の移動手段として需要がある。平成21年11月に、鶴来駅・加賀一の宮駅間（2.1km）が、一部廃線となったが、その際には、沿線住民の間で存続に向けた運動が行われた。北陸鉄道においても、年間1300人が利用する自転車が搭載可能な『サイクルトレイン』、車内でアルコールを提供する臨時電車『ビール電車・日本酒電車等』のイベント電車を走らせたり、割引乗車券を販売して、乗客の確保に努めている。
 ⑤**旧加賀一の宮駅** 昭和2年の開業以来、唐破風屋根の建築様式から、『中部の駅百選』に選ばれるなど、長年に渡り鉄道利用者に愛されてきた。平成21年の廃線により施設自体は閉鎖され、建設から80年以上が経過していることから、老朽化が激しい。
 ⑥**パーク獅子吼** 平成8年に旧鶴来町により整備されたテーマパーク。ものづくりをテーマにし、地場産業の醸造業や木彫の作業工程を見学したり、国内有数の獅子頭を中心とした獅子ワールド館を主要施設とした産業公園。平成18年度に、指定管理者制度が導入され、現在は民間活力によって、年間を通じたイベント開催や企画が発信されており賑わいを見せている。
 ⑦**石川県ふれあい昆虫館** 鶴来の豊かな自然を生かした日本海側で初の本格的な昆虫館。日本海側最大規模の放蝶温室『チョウの園』では、一年中チョウが飛び姿を見ることが出来る。
 ⑧**舟岡山城跡** 標高178mの舟岡山の山頂に築城されていたかつての山城跡。室町時代の築城とされ、加賀の一向一揆にも登場する。現在でも、石垣や空堀が現存しており、整備されている遊歩道を歩くと戦国時代の喧騒に想いをはせることが出来る。国指定史跡を目指し、遺構の調査を実施している。
 ⑨**手取川七ヶ用水** 白山を源とする手取川から取水して、白山、金沢、野々市、川北の3市1町にかんがい用水を供給する県内最大の農業用水である。鶴来地区にある大水門や隧道、給水口などの施設は明治36年に整備され、現在も使用されている。これらの『七ヶ用水施設群』は日本土木学会が『日本土木選奨遺産』、農林水産省が『疎水百選』に指定しており、平成26年9月には国際かんがい排水委員会が『かんがい施設遺産』に指定した。国の重要文化財指定を目指し、文化庁と協議を進めている。

【鶴来地区における中心市街地活性化に向けた住民主体のまちづくり活動】
 ●鶴来まちづくり協議会について
 ・策定された鶴来まちづくり活性化計画書の具現化にむけて、平成24年度に住民主体のまちづくり組織『鶴来まちづくり協議会』が組織された。現在、以下の3つのプロジェクトチームがまちづくり活動を実施している。現在の委員は22人、金沢工業大学谷教授がオブザーバーとして参加している。

◎造り物展示プロジェクトチーム
 ・まちなかに鶴来ほうらい祭りの『造り物』展示を検討している。
 ※現在は祭りが終わった後、翌年の祭りに向けて造り物を制作するまでの間、郊外のパーク獅子吼において、展示されているが、まちなかでの新たな展示を望む声が多く上がっている。
◎旧駅舎利活用プロジェクトチーム
 ・旧加賀一の宮駅駅舎及び周辺が一体となった活用方法を検討している。老朽化した駅舎の簡単な修繕を行っている。
◎サイクルタウンプロジェクトチーム
 ・まちなかである鶴来本町地内に、駐輪スタンドを設置し、地域住民や観光客に利用されている。『自転車による鶴来まちなみめぐりツアー』を2回実施し、まちなかを周遊する上での問題点についてアンケート調査を行い、調査・分析結果に対応した活動方針を検討している。金沢工業大学谷研究室の学生が研究の一環として、活動に参加している。

- 鶴来まちづくり協議会で検討中の主な事業提案
- ・鶴来地区へのキャリアバス（自転車積み込み用のラックを備えたバス）の導入
 - ・ほうらい祭りの「造り物」の展示とPR
 - ・四醸造（酒・醤油・味噌・酢）のPRと製造体験教室の企画（製造業者と連携）
 - ・B級グルメ「つるぎTKGY」のPR（鶴来商工会と連携）
 - ・まちなかカフェの企画
 - ・イベント列車の企画 など



●鶴来青年クラブについて
 ・鶴来まちづくり協議会『サイクルタウンプロジェクトチーム』の中核メンバーであり、概ね40歳までの市内在住のメンバー17人で構成されている。自己修練と社会奉仕を通して、地域経済の発展に寄与777することを目的に、昭和41年に発足した。自転車事業の他にも、北陸鉄道石川線の利用者数を拡大するため、北陸鉄道と連携したイベント電車『妖怪電車』を走らせており、成果を収めている。



様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	473.6	交付限度額	189.3	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
	道路		(都)鶴来本町水戸町線整備	白山市	直	L=110m,W=8m	29	31	29	31	126.0	126.0	126.0		126.0
	道路		表参道乗り入れ道整備	白山市	直	L=600m,W=7m	27	28	27	28	173.8	173.8	173.8		173.8
	道路(都市再構築戦略事業)														
	公園														
	公園(都市再構築戦略事業)														
	古都及び緑地保全事業														
	河川														
	下水道														
	駐車場有効利用システム														
	地域生活基盤施設	情報板	案内誘導サインの設置	白山市	直	N=11	30	30	30	30	5.0	5.0	5.0		5.0
		自転車駐車場	駐輪場の整備	白山市	直	N=6	28	30	28	30	3.4	3.4	3.4		3.4
		広場	旧加賀一の宮駅周辺整備	白山市	直	N=1	27	31	27	31	70.9	70.9	70.9		70.9
		広場	市民広場整備	白山市	直	N=1	30	30	30	30	22.0	22.0	22.0		22.0
	高質空間形成施設		市道三宮町7号線整備	白山市	直	L=276m	28	28	28	28	26.8	26.8	26.8		26.8
	高次都市施設														
	中心拠点誘導施設														
	生活拠点誘導施設														
	高齢者交流拠点誘導施設														
	既存建造物活用事業		旧加賀一の宮駅サイクリングターミナル整備	白山市	直	N=1	27	30	27	30	41.9	41.9	41.9		41.9
	土地区画整理事業														
	市街地再開発事業														
	住宅街区整備事業														
	市街地再開発事業														
	バリアフリー環境整備事業														
	優良建築物等整備事業														
	住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
		沿道等整備型													
		密集住宅市街地整備型													
		耐震改修促進型													
	街なみ環境整備事業														
	住宅地区改良事業等														
	都心共同住宅供給事業														
	公営住宅等整備														
	都市再生住宅等整備														
	防災街区整備事業														
	合計										469.8	469.8	469.8	0.0	469.8

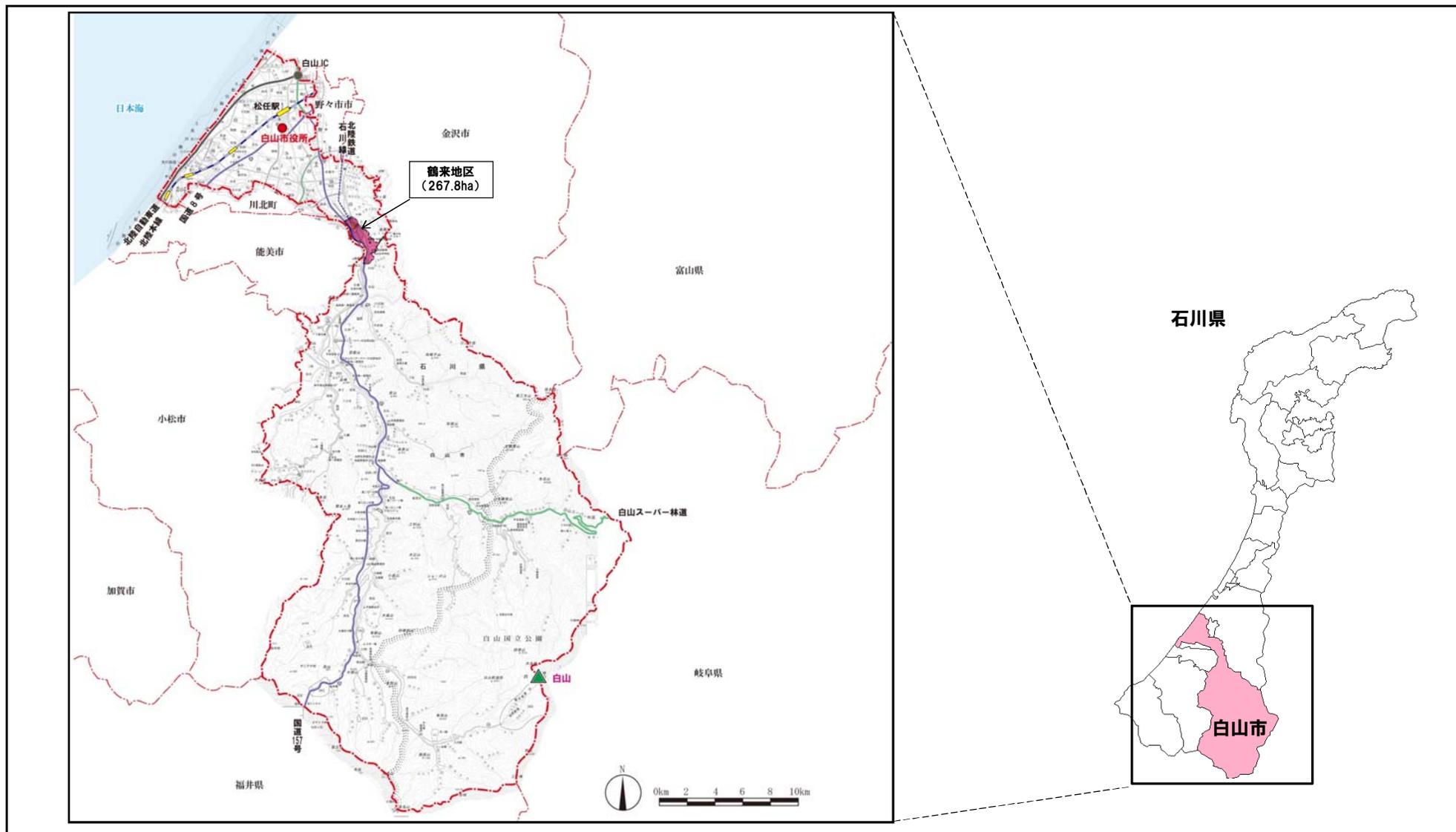
提案事業(継続地区の場合のみ記載)															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業															
事業活用調査	事業実施効果調査	-	白山市	直	-	31	31	31	31	2.0	2.0	2.0		2.0	
まちづくり活動推進事業	サイクルツーリズム実証実験	-	白山市	直	-	27	31	27	31	1.8	1.8	1.8		1.8	
合計										3.8	3.8	3.8	0.0	3.8	

(参考)関連事業															
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費				
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度					
(都)鶴来本町通り線街路整備	県道野々市鶴来線	石川県	-	L=429m		○				26	32	1,400.0			
市道別院知守線外消防雪整備	市道別院知守線外	白山市	-	L=1,400m		○				26	30	150.0			
舟岡山城跡史跡発掘調査事業	舟岡山公園	白山市	文化庁	A=12ha		○				26	31	22.0			
街なみ環境整備事業	-	民間事業者	-	-		○				28	31	30.0			
周遊バスルートの整備	-	白山市	-	-		○				27	29	20.0			
合計												1,622.0			

合計(A+B) 473.6

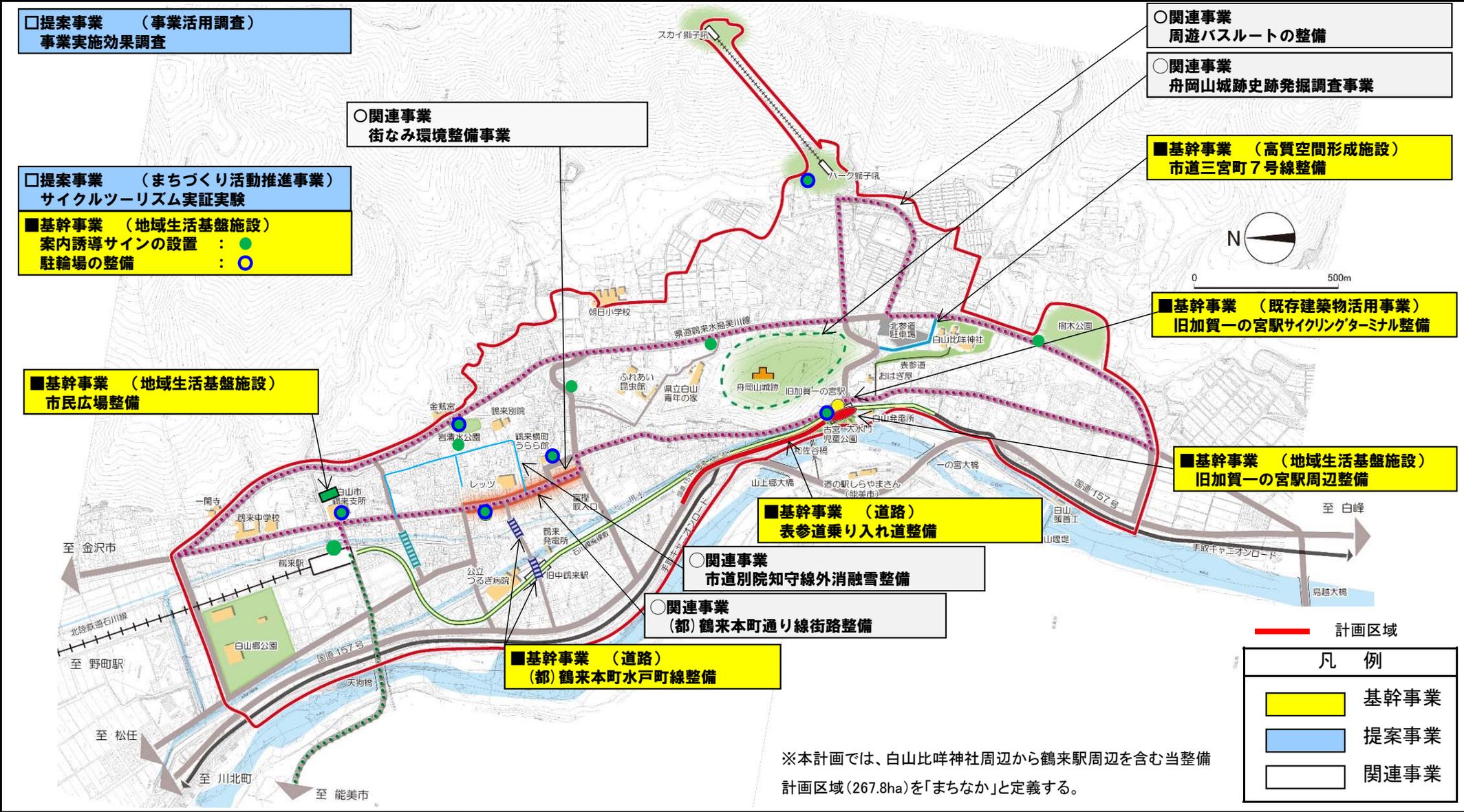
都市再生整備計画の区域

<p>鶴来地区(石川県白山市)</p>	<p>面積 267.8 ha</p>	<p>区域 白山市鶴来大国町、鶴来下東町、鶴来水戸町、鶴来新町、鶴来古町、鶴来今町の全域 鶴来本町、鶴来知守町、鶴来日詰町、鶴来朝日町、鶴来日吉町、八幡町、三宮町、白山町の一部</p>
---------------------	------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------



鶴来地区(石川県白山市) 整備方針概要図

目標	【大目標】: 観光拠点から「まちなか」への来訪者の誘導と、住民が歩いて楽しい「まちなか」の仕掛けづくり	代表的な指標	空き店舗の活用件数 (件)	3	(H26年度)	→	5	(H31年度)
	目標① : “まちなか”へ誘導する「魅力」(ハード)の整備		キャニオンロード利用者数 (台/12hr)	182	(H26年度)	→	190	(H31年度)
	目標② : “まちなか”へ誘導する「足」の整備		“まちなか”と行き来する参詣者数 (人/12hr)	812	(H26年度)	→	829	(H31年度)
	目標③ : “まちなか”へ誘導する「しかけ」(ソフト)の整備							

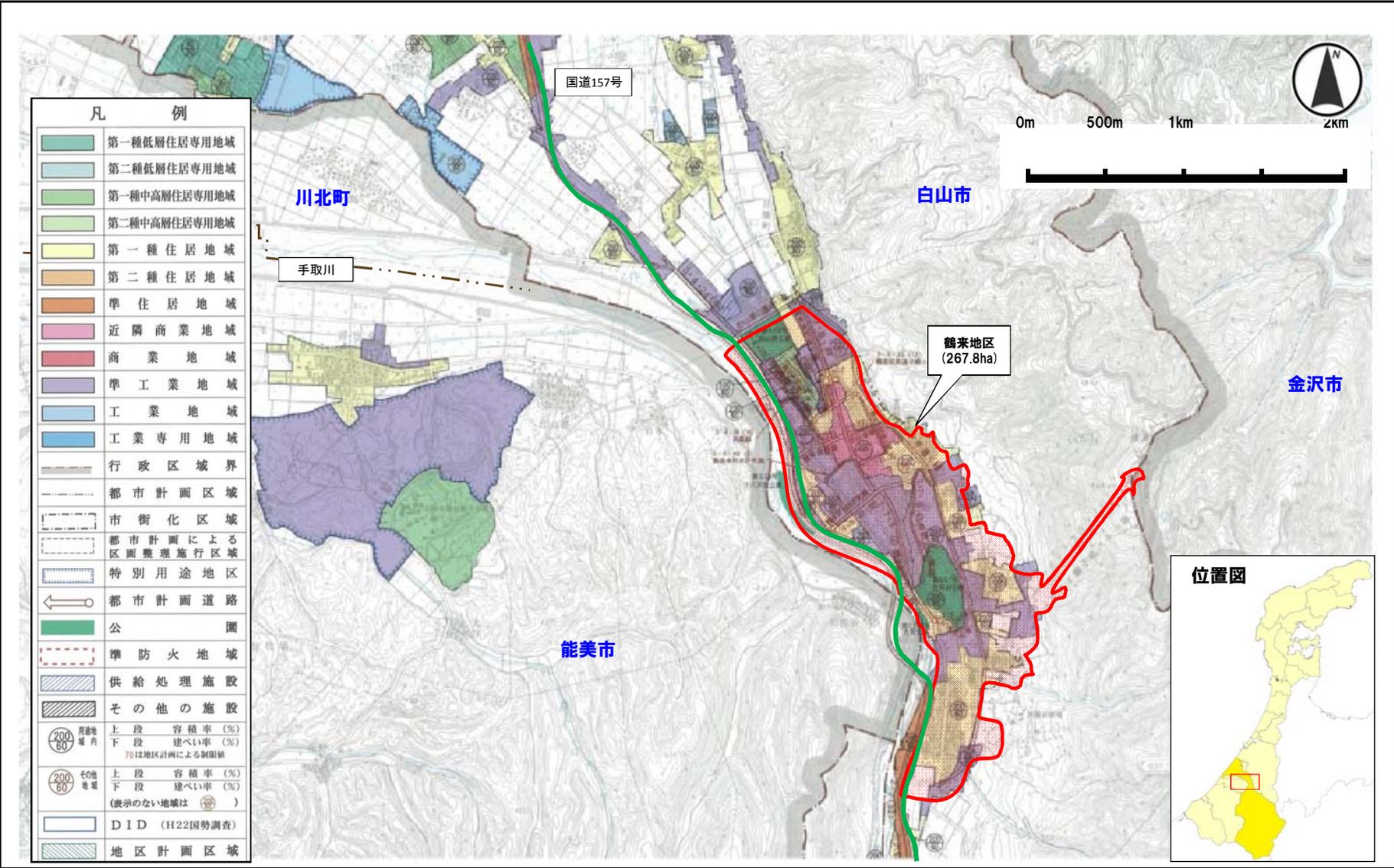


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

つるぎ
鶴来地区 いしかわ はくさん
(石川県白山市)

鶴来地区(石川県白山市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

鶴来地区(石川県白山市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	189.4 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	50,774.0 百万円	X ≤ Yゆえ、	本計画における交付限度額	189.4 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	--------------	----------	--------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	1,071,200 m ²
-----------	--------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	2,678,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	○ その他の地域	0.40

Ci	205,200 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	1
公示価格の平均値(円/m ²)	46,800

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.001
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	469.8 百万円
	提案事業(B)	3.8 百万円
	合計	473.6 百万円

Ap	628,586 m ²
-----------	------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

○ 個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	437,033	0.16
公園	111,881	0.04
広場	67,224	0.03
緑地	12,448	0
公共施設合計	628,586	0.23

Cn を考慮しない場合の交付限度額(Y1)	50,502 百万円
------------------------------	------------

ΣCn	544,000,000 円
------------	---------------

下水道	0 円
区域面積(m ²)	2,678,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	426,800

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	
	一般	
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

○ 電線共同溝等	544,000,000 円
電線共同溝等延長(m)	800
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円	
大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cn を考慮した場合の交付限度額(Y2)	50,774 百万円
-----------------------------	------------

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	378.8
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	521.9
	交付限度額(X)	189.4 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 交付要綱第5 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

鶴来地区 (石川県白山市)

要綱第三編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	469.780	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	189.424	① (国費)
	提案事業合計(B)	3.780	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	260.989	② (国費)
	合計(A+B)	473.560	(事業費)	上記①、②の小さい方	189.424	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.008		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③式の適用後(適用がある場合は3式反映)	189.424	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		③式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	189.424	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	執行額を足した額	189.424	⑨ (国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	189.424	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')	0.000	A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')	0.000	B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	189.424	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	473.6	(事業費)	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	189.4	⑰ (国費)
			国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
道路		表参道乗り入れ道整備	白山市	173.8	12.3	161.5			
公園									
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	情報板	案内誘導サインの設置	白山市	5.0					5.0
	自転車駐車場	駐輪場の整備	白山市	3.4		0.5			2.9
	広場	旧加賀一の宮駅周辺整備	白山市	70.9	1.0		2.9		37.0
	広場	市民広場整備	白山市	22.0					22.0
高質空間形成施設		市道三宮町7号線整備	白山市	26.8		26.8			
高次都市施設									
既存建造物活用事業		旧加賀一の宮駅サイクリングターミナル整備	白山市	41.9	1.9				40.0
中心拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
計				469.8	15.2	188.8	22.9	157.2	85.7
提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業活用 調査	事業実施効果調査	-	白山市	2.0					2.0
	サイクルツーリズム実証実験	-	白山市	1.8	1.0			0.6	0.2
まちづくり活 動推進事業									
計				3.8	1.0	0.0	0.0	0.6	2.2
合計				473.6	16.2	188.8	22.9	157.8	87.9
累計進捗率 (%)					3.4%	43.3%	48.1%	81.4%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
(都)鶴来本町水戸町線	鶴来古町～鶴来水戸町	地	市	-		110	6	8	2	2.5	126.0	H29～H31	道路改良・舗装整備	H22.10	
表参道乗り入れ道	鶴来水戸町～白山町	地	市	-		600	6	8	2		173.8	H27～H28	道路改良・舗装整備	-	
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築：交通量(人/日)、混雑度等

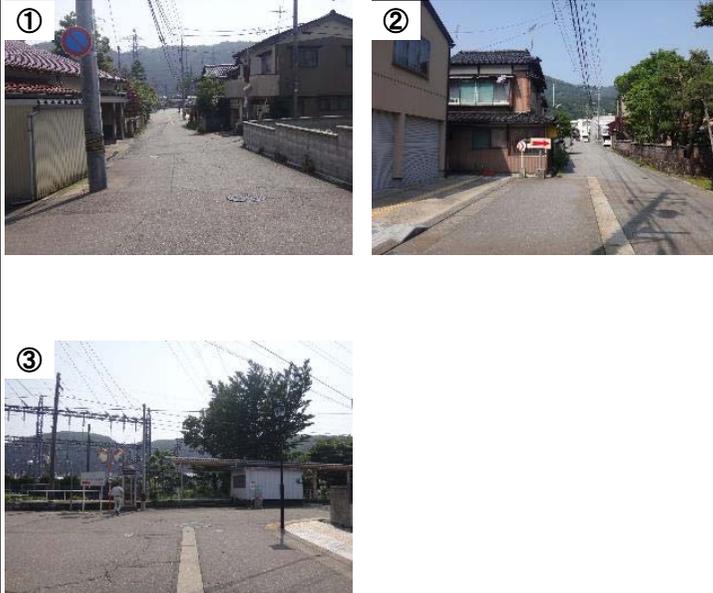
・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

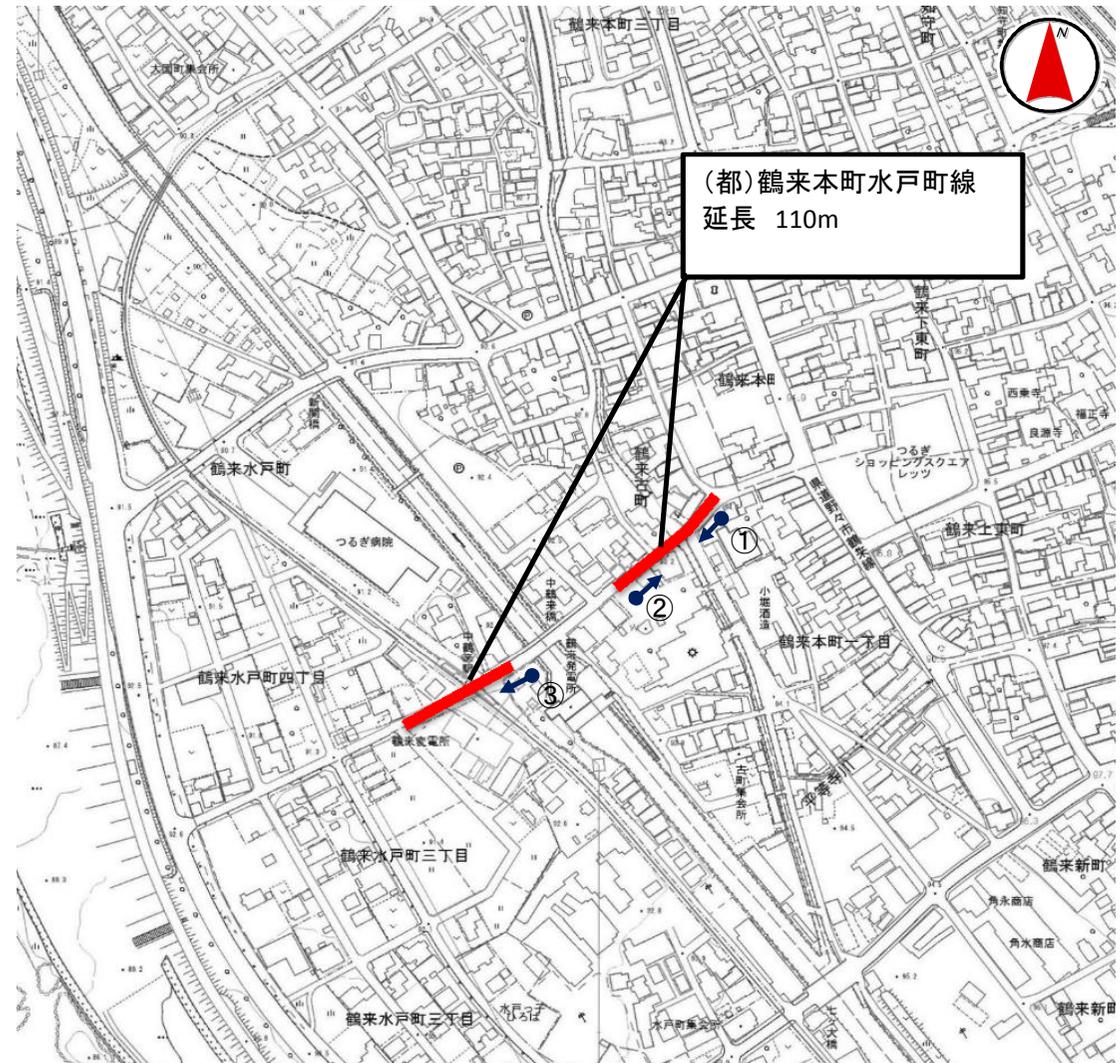
* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路：（都）鶴来本町水戸町線整備

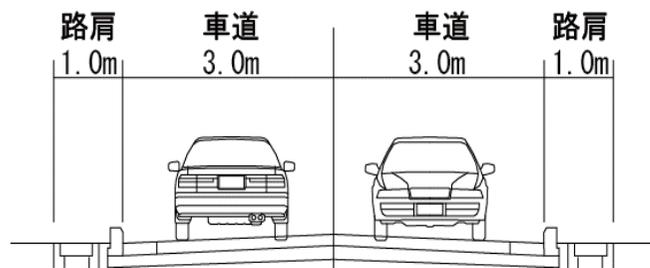
現況写真



整備箇所



断面図

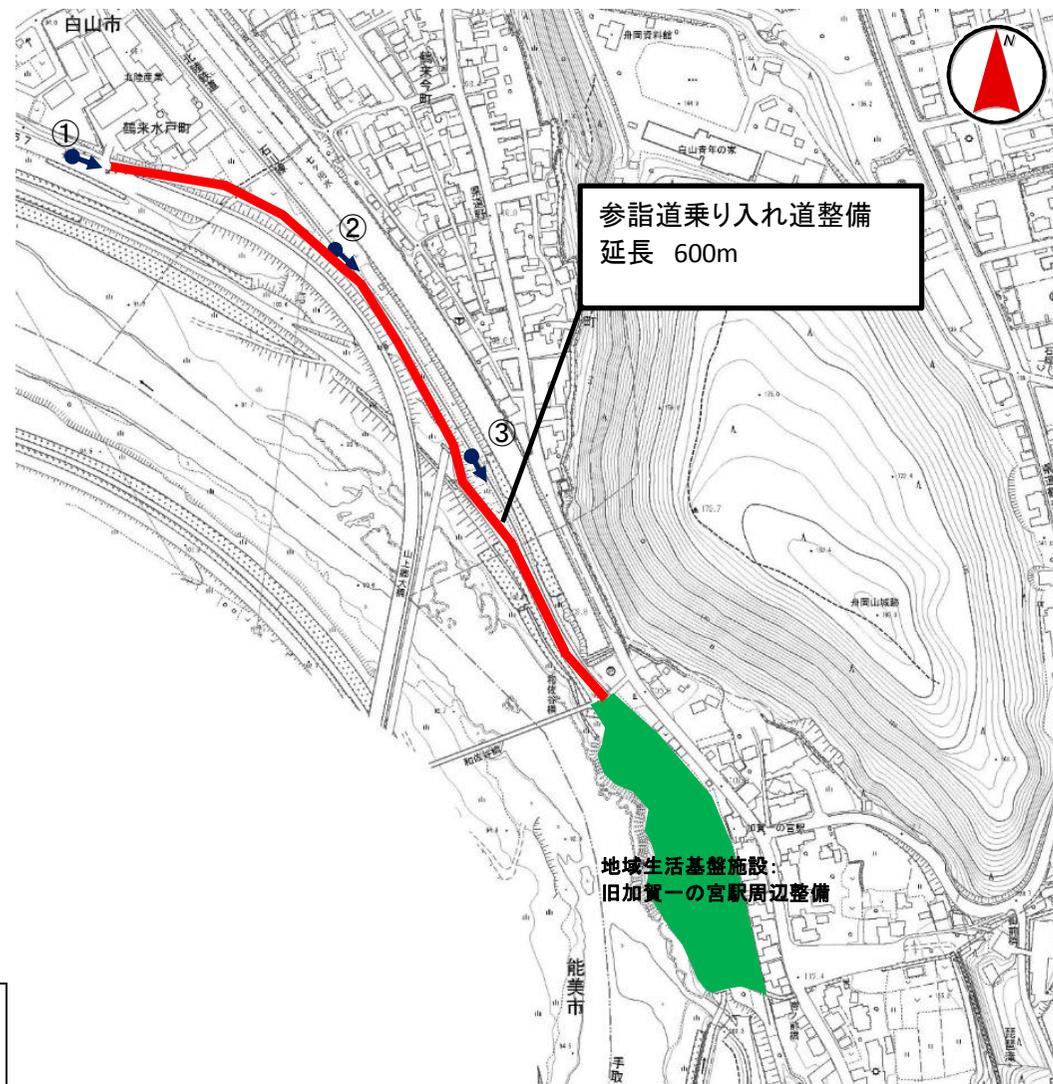


道路：表参道乗り入れ道整備

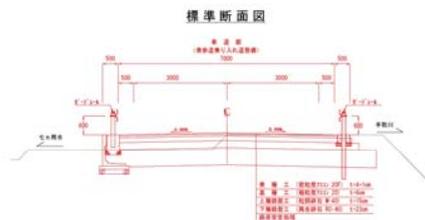
現況写真



整備箇所



断面図



コメント

国道157号から白山比咩神社へ表参道へ直接乗り入れする道路を整備することによって、表参道側からの参詣客の増加を図り、旧加賀一の宮駅・表参道周辺の賑わいを創出させる。

高質空間形成施設

単位:百万円

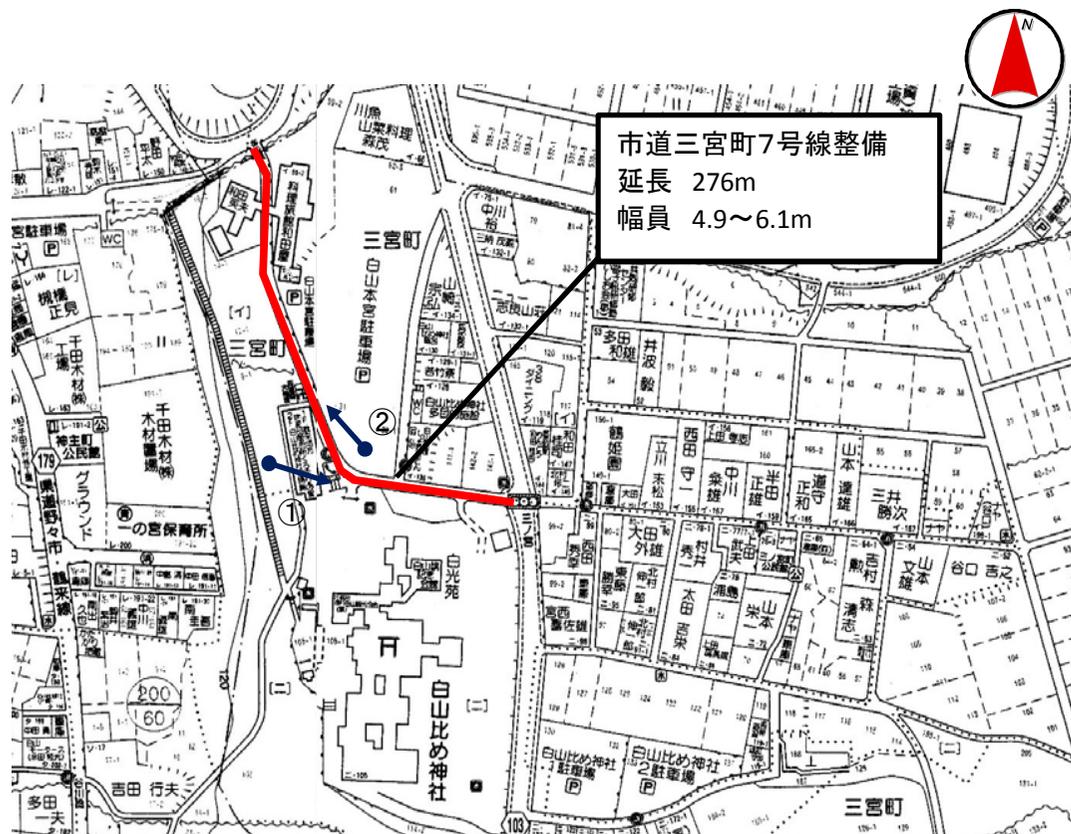
交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	市道三宮町7号線整備	白山市	車道カラー舗装 L=276m W=4.9~6.1m	26.8	0.0	0.0	26.8	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
合計	—	—	—	26.8	0.0		26.8	

高質空間形成施設：市道三宮町7号線整備

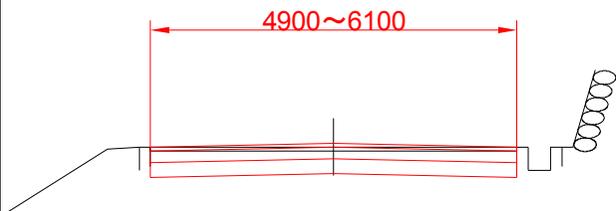
現況写真



整備箇所



断面図



整備イメージ図



地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費 うち購入費	
緑地							—	
広場	旧加賀一の宮駅周辺整備	市	N=2箇所	92.9	16.0		76.9	一の宮駅周辺整備:70.9 市民広場:22
駐車場								
自転車駐車場	駐輪場整備	市	N=6箇所	3.4			3.4	
荷物共同集配施設								
公開空地							—	
情報板	案内誘導サインの設置	市	N=11基	5.0	0.5		4.5	—
地域防災施設								
人工地盤							—	
合計	—	—	—	101.3	16.5		84.8	

・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。

・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。

・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。

・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。

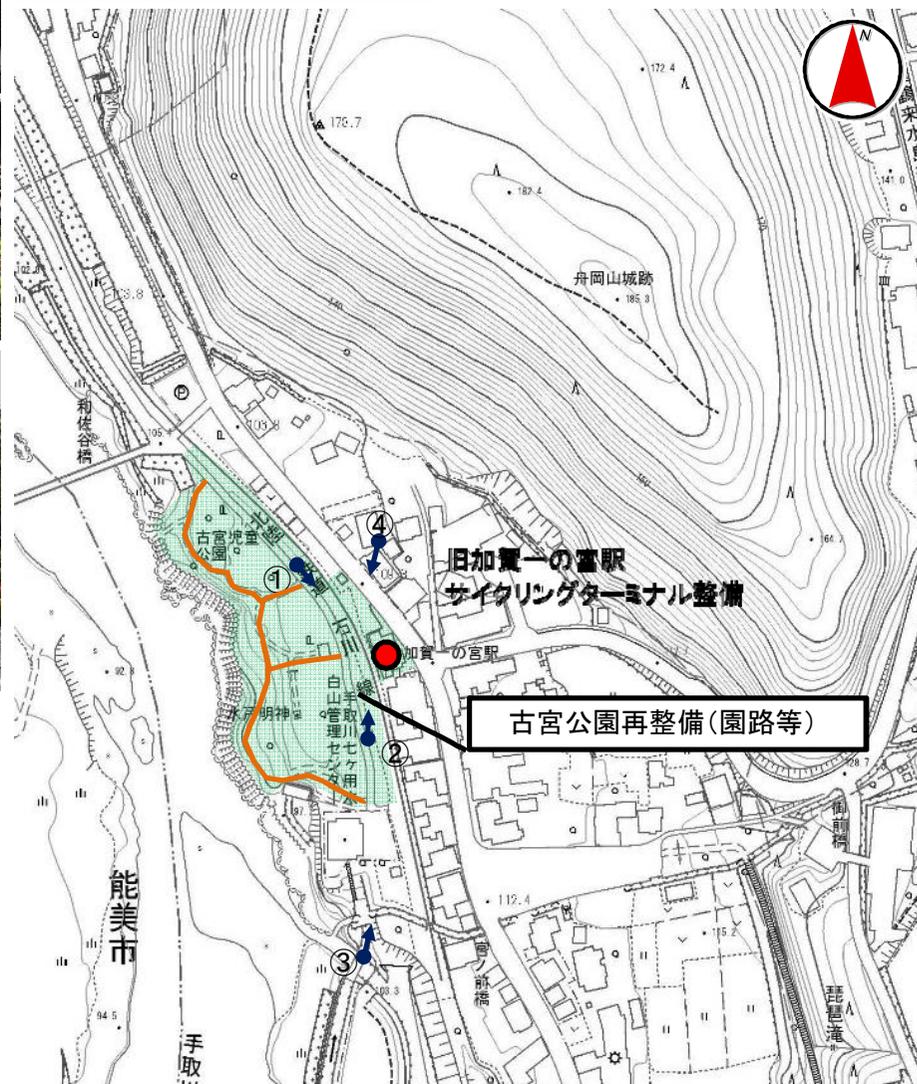
・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

地域生活基盤施設：旧加賀一の宮駅周辺整備

現況写真



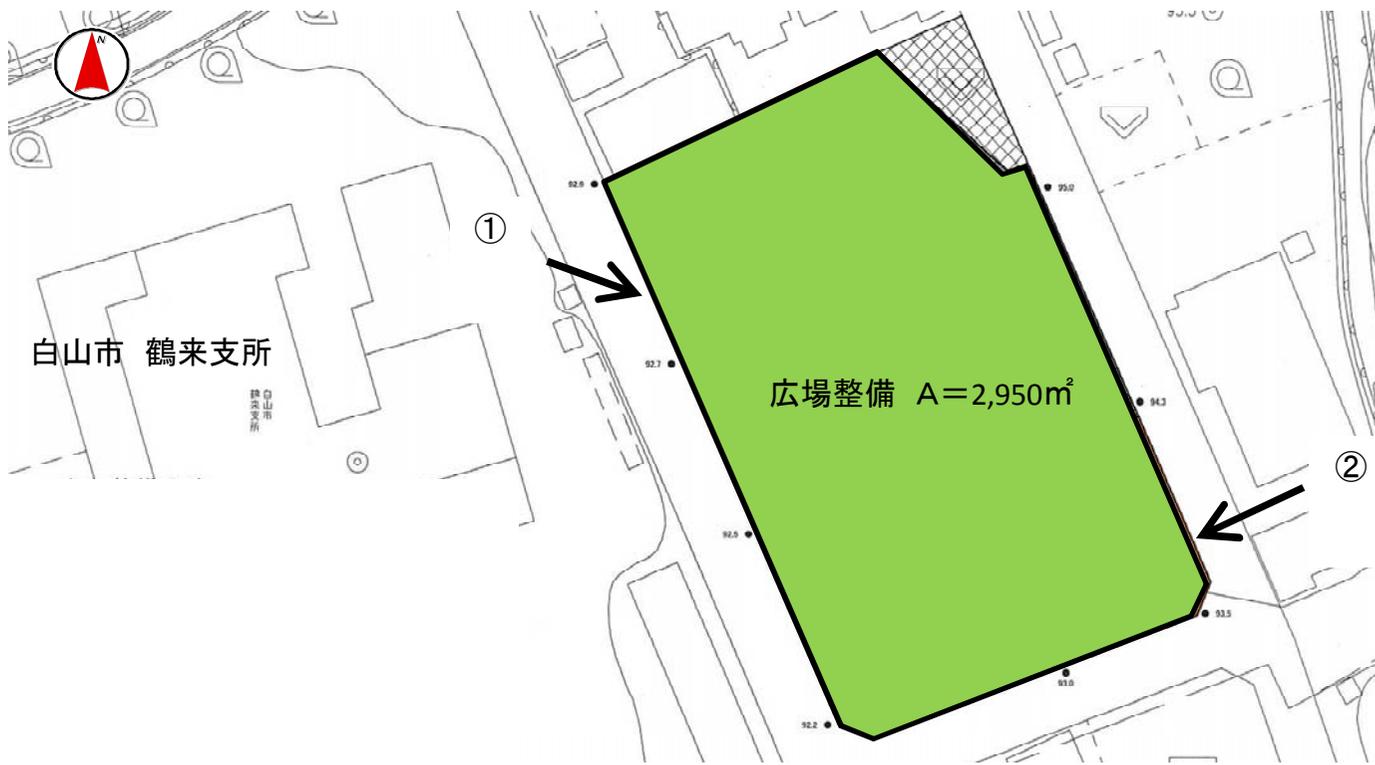
整備箇所



現況写真



整備箇所

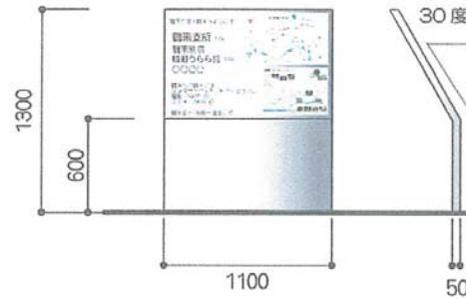


地域生活基盤施設：駐輪場整備、案内誘導サインの設置

整備内容

- ・駐輪場整備においては、
6箇所で開催予定
- ・案内誘導サインの設置においては、
11箇所で開催予定
- ※内7箇所については、既存看板の改修
において整備予定
- ・鶴来まちづくり協議会と協議を行い、
白山市が整備する。

案内誘導サイン設置イメージ



誘導サイン

獅子の里 鶴来へようこそ!

白山自然史館 200m
鶴来うらら館 800m
白山比咩神社 2.4km
一宮寺 600m
白山公園 700m

レンタサイクル
情報

白山GO レンタサイクル

鶴来への利用には
レンタサイクルをご利用ください。
電話：500円/日
シャワー：200円/日
駐車場1台 無料区域内にて

広域地図

駐輪場整備イメージ



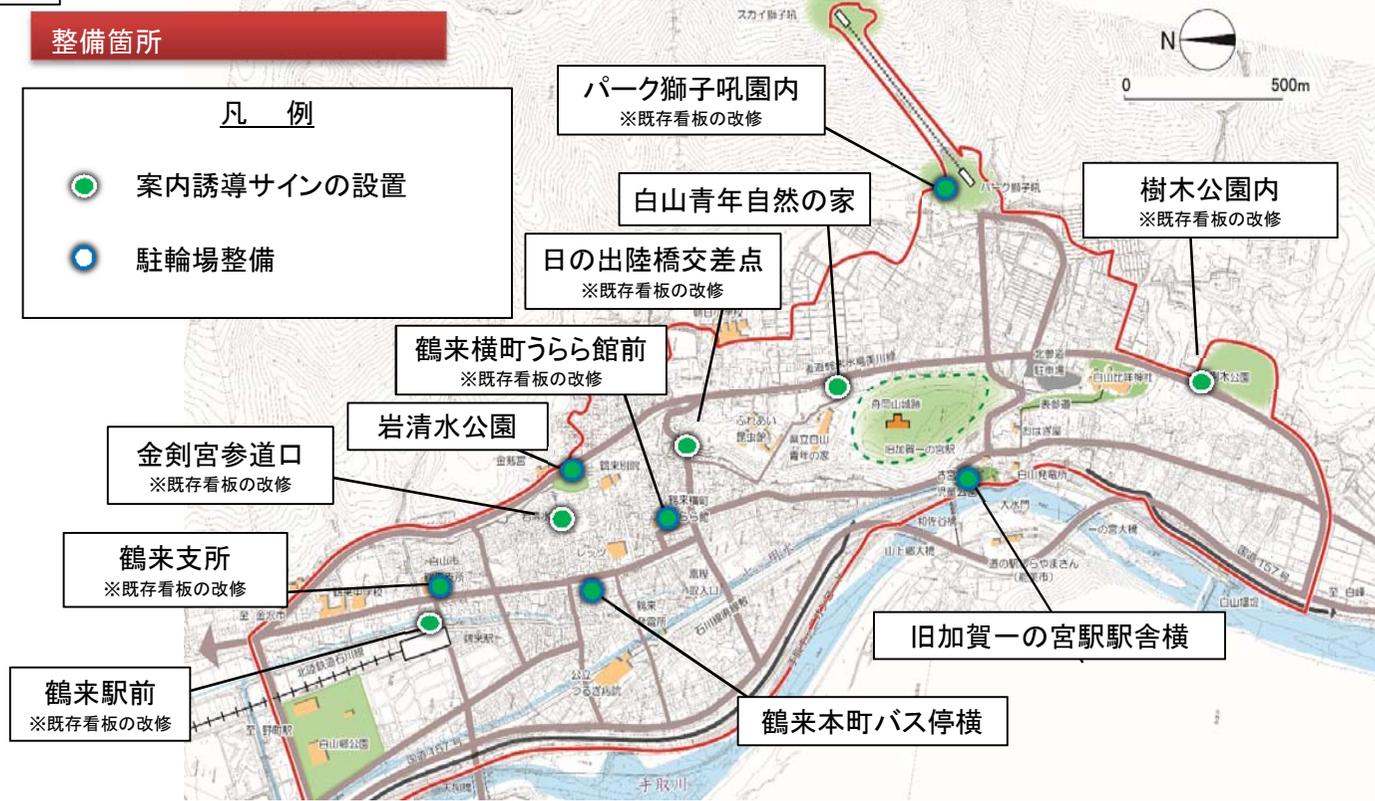
案内誘導サイン※改修する既存看板



整備箇所

凡 例

- 案内誘導サインの設置
- 駐輪場整備



既存建造物活用事業

既存建造物の従前の用途・活用の必要性等

既存建造物の従前の用途

・白山比咩神社の表参道へのアクセスを担う鉄道路線の終着駅駅舎として、利用されてきた。

活用の必要性

・平成21年の石川線鶴来駅～加賀一の宮駅間の廃止後、駅舎も閉鎖され、表参道周辺の賑わいも低下しており、かつての賑わいを取戻すため、かつての交通拠点であった旧駅舎を改修し、観光交流拠点として利用することが必要。

活用内容

・旧待合室・旧事務室を開放して交流サロンとして活用。地域の物産販売等、地域住民および観光客が憩える場所として利用するとともに、地区内の観光案内等の情報発信等、まちなかへの人の流れを促す情報発信基地として利用。

地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	施設整備費		
						購入費	移設・改築 費	

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	施設整備費		
						購入費	移設・改築 費	

高次都市施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (面積、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳							備考
					設計費	施設整備費						
						購入費	移設・改築 費	空地等整備 費	情報通信施 設整備費	制振・免震構 造化工事費	防災施設整 備費	
観光交流センター	加賀一の宮駅舎 ((仮)旧加賀一の宮駅サ イクリングターミナル)	市	A=98.73㎡	41.9	1.9	0.0	0.0	1.0	1.0	37.0	1.0	

・施設名ごとに(道路は路線ごとに)1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

・その他記入上の注意は「地域生活基盤施設」、「高質空間形成施設」、「高次都市施設」のシートと同様。

既存建造物活用事業：旧加賀一の宮駅サイクリングターミナル整備

現況写真



整備箇所



整備内容

- ・屋根周り改修
- ・外壁周り改修
- ・建物内部改修
- ・建物周辺改修

